



取締役頭取 河口 和幸

ごあいさつ

皆様方には、平素から私ども熊本ファミリー銀行をお引き立ていただきまして、ありがとうございます。

本年も、地域に根ざした金融機関として、熊本ファミリー銀行をより一層ご理解いただくために、ディスクロージャー誌を作成しました。

本誌におきましては、平成18年3月期の業績を中心に、経営の現況やCSR（企業の社会的責任）の取組み、地域貢献活動などについて詳しく説明しています。

平成18年3月期においては、将来の発展に向けた基礎固めの時期と位置付けて、営業基盤と収益力の強化に取組んだ結果、前年に引き続き良好な利益を確保することができました。また環境問題への取組みにおきましても、ISO14001の認証を取得し、熊本ファミリー銀行環境方針のもと積極的に取組んでまいりました。

こうした中、第6次中期経営計画を策定し、個人取引・中小企業取引の拡大や不良債権問題の終結を柱とした「攻めの経営」と、コンプライアンスの徹底やリスク管理の一層の強化を柱とした「規律ある経営」の2本の柱を基本とし、これにより経営力の強化を図り、「地域になくてはならない銀行」として躍進することを目指してまいります。

この間、平成18年5月12日に株式会社福岡銀行との間に、業務・資本提携並びに共同持株会社の設立による、将来的な経営統合に向けた検討を開始することに基本合意いたしました。これにより、営業ネットワークの拡大による顧客サービスの向上、地域社会への貢献、企業価値の持続的成長の実現、従業員満足度の向上を図り、引き続き経営の基本方針である「地域貢献No.1銀行」・「お客様満足度No.1銀行」を目指し努力してまいります。

今後も、皆様方のなご一層のご支援・ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

取締役頭取 河口 和幸

本誌は、銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料（業務および財産の状況に関する説明書類）です。
本誌に掲載してある計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。